



GS ビッグ データ・ ストラテジー (エマージング株)

追加型投信／海外／株式

DATA INSIGHT

投資戦略に革新を。

(注)「ビッグデータ・ストラテジー」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」は販売会社までご請求ください。

■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は



中国銀行

商号等 株式会社中国銀行
登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

経済成長からの恩恵が期待できる エマージング株式

地理的に広範にわたるさまざまな銘柄に関する膨大なデータを、
ビッグデータ / AI を活用して選別する

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、
長い年月をかけて開発してきた独自の運用モデルに、
ビッグデータ解析を導入することで、
あふれる情報の中から投資への示唆を見出す。



ビッグデータ / AI (人工知能)*



エマージング株



**Goldman
Sachs**

Asset
Management

ゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント

GS BIG DATA STRATEGY

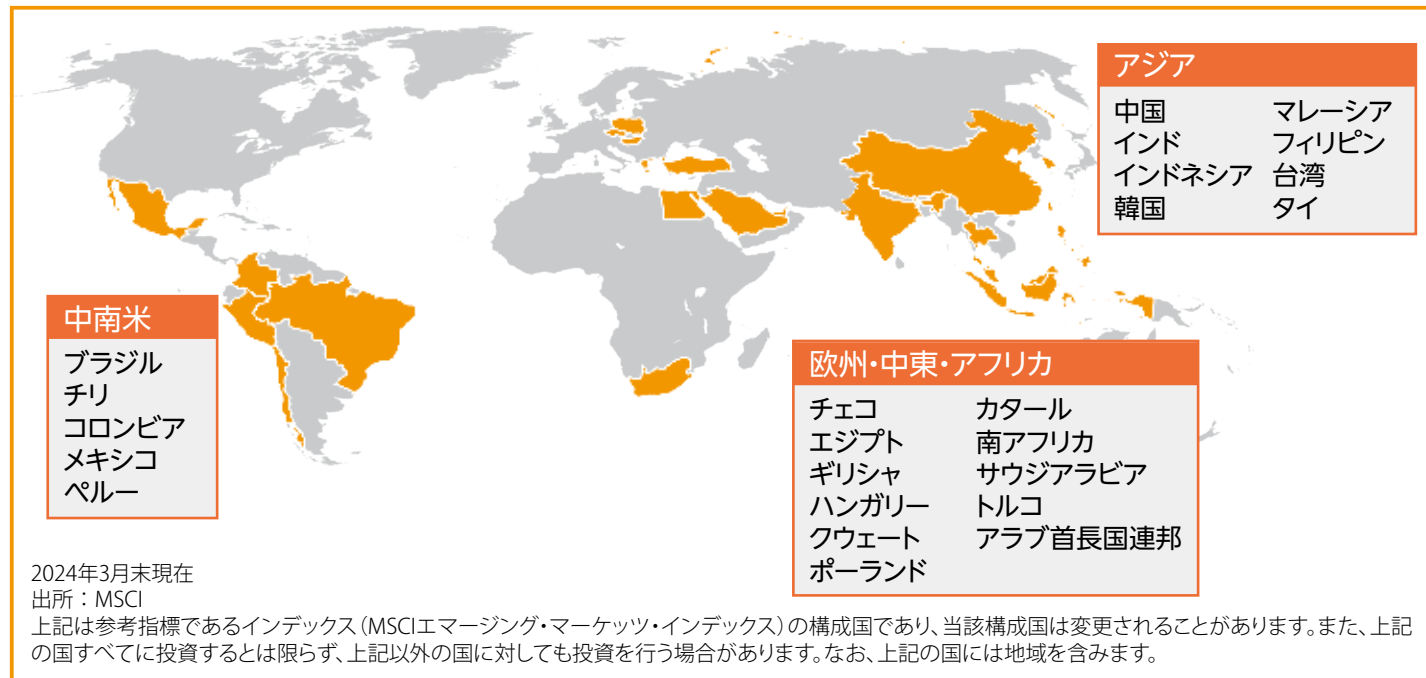
〈 GS ビッグデータ・ストラテジー (エマージング株) 〉

*詳細は9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

ビッグデータ/AI×エマージング株式

成長著しいエマージング諸国のさまざまな銘柄に関する膨大なデータを、ビッグデータ/AIを活用して選別する

地理的に分散されたエマージング市場においては、人間が現地調査を行い深く分析できる銘柄数には限りがありますが、ビッグデータ/AIを活用した計量運用では、24ヵ国・地域に上場する約3,500銘柄に関して、日々、投資魅力度を評価して運用することが可能です。



ビッグデータ



情報の収集



上記は、例示をもって理解を深めていただくことを目的とした概念図です。

上記の「ビッグデータ」は、あくまで一例に過ぎません。

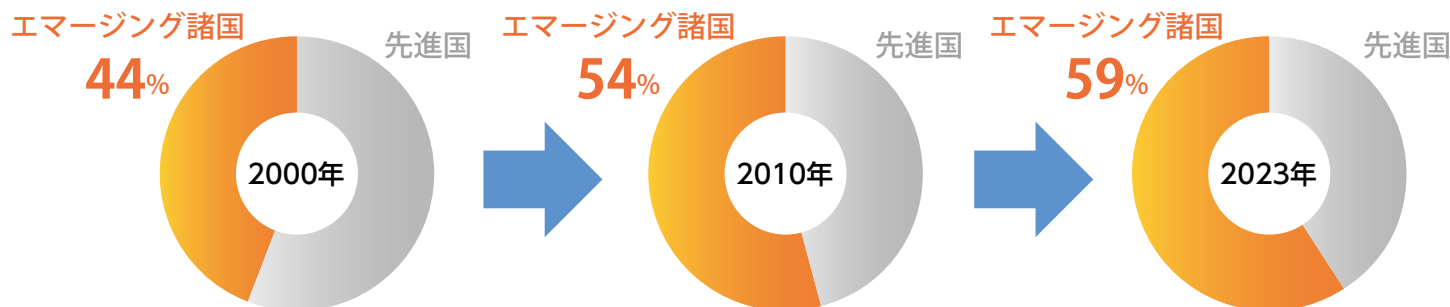
MSCI および MSCI の情報の編集、計算、および作成に関与するその他のすべての者（以下総称して「MSCI 当事者」といいます）は、MSCI の情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。MSCI、その関連会社および MSCI 当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCI の書面による明示的な同意がない限り、MSCI の情報を配布または流布してはならないものとします。

経済規模の拡大とともに成長してきたエマージング株式

□世界経済に対するエマージング諸国の存在感は増加

世界に占めるエマージング諸国のGDPの割合は増加しており、足元では世界の過半を占めています。

《世界のGDP(国内総生産)の内訳と推移》



期間：2000年～2023年(概算値含む)

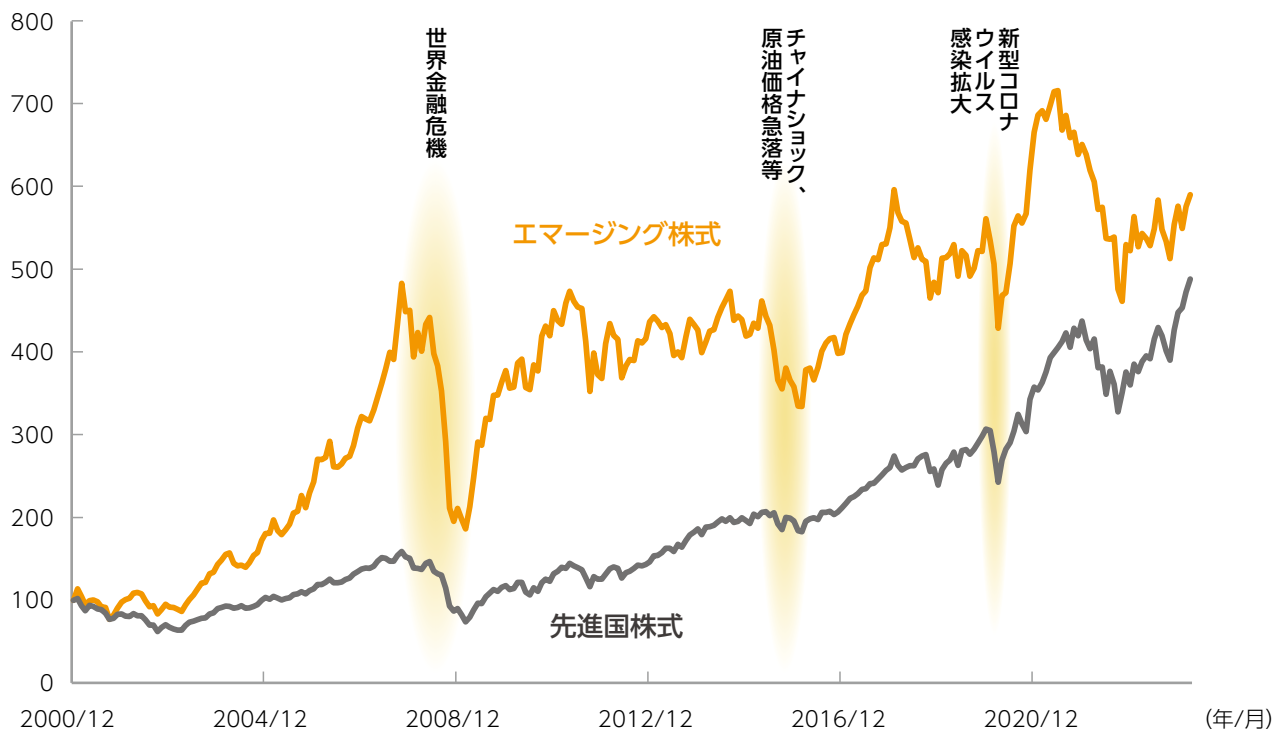
出所：IMF(国際通貨基金) World Economic Outlook, April 2024

GDP：各国の物価水準に基づく為替レートで換算したGDP

□エマージング株式は経済拡大とともに、長期的に先進国を上回る勢いで上昇してきた

いくつかの景気の波を経験しながらも、エマージング株式は、その経済規模の拡大とともに、魅力的なリターンを提供してきました。

《エマージング株式と先進国株式の推移(米ドル・ベース)》



期間：2000年12月末～2024年3月末(2000年12月末を100として指数化)

出所：MSCIのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み)、先進国株式：MSCIワールド・インデックス(税引前配当込み)

上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。

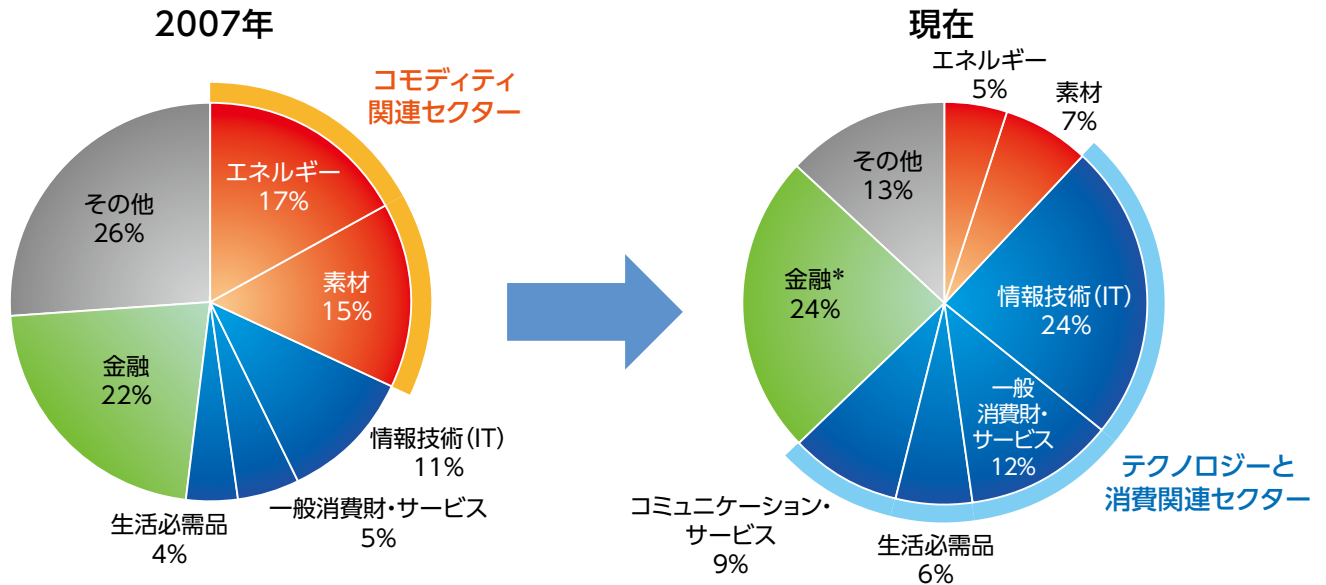
新興国市場への投資は、流動性が低く、法令・諸規則の未整備、変動性の高い有価証券市場、通貨の下落、社会、政治、軍事、法令・諸規則、経済、環境状況や自然災害などにより、先進国市場への投資と比べ高いリスクを伴います。くわしくは後記「投資リスク」をご覧ください。

変化の著しいエマージング株式

□コモディティ頼みのかつての姿から一変、テクノロジー中心へと変化を遂げた

経済構造が大きく変化した現在、コモディティ関連セクターに代わり、テクノロジーや消費に関連するセクターが台頭しています。

《セクター別構成比率の変遷》



出所：MSCI

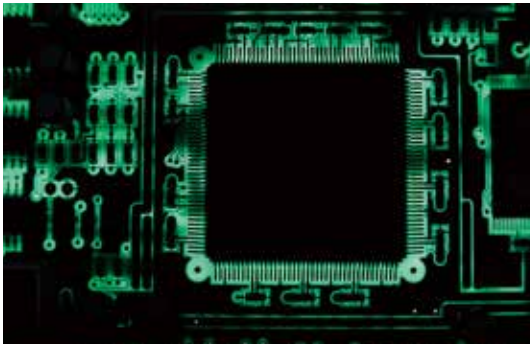
MSCIエマージング・マーケット・インデックス

上記の「2007年」は2007年10月末、「現在」は2024年3月末のデータを使用。

上記の比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

□世界の大企業と肩を並べるテクノロジー企業を創出

特にアジアのIT企業の成長速度は速く、エマージングのトップ企業に名を連ねるまでに成長しています。



台湾セミコンダクター(台湾)

- 台湾の半導体受託生産企業で、世界トップレベルの微細化技術を誇る。

テンセント・ホールディングス(中国)

- 中国の大手IT・ネットサービス企業で、SNSサービス、インスタントメッセージャーなどを提供。

出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント調べ

上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。写真はイメージです。

新興国市場への投資は、流動性が低く、法令・諸規則の未整備、変動性の高い有価証券市場、通貨の下落、社会、政治、軍事、法令・諸規則、経済、環境状況や自然災害などにより、先進国市場への投資と比べ高いリスクを伴います。くわしくは後記「投資リスク」をご覧ください。

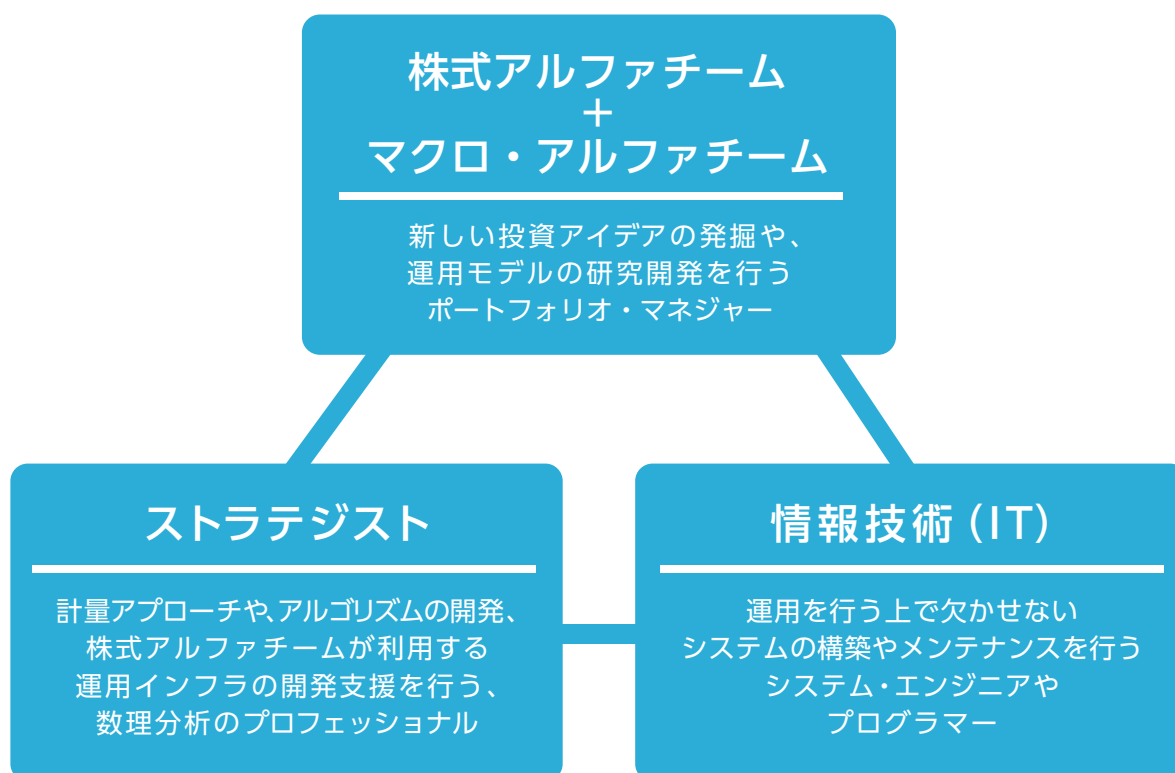
本ファンドの運用体制

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 計量投資戦略グループ

本ファンドの実質的な運用は、計量投資戦略グループが行います。

30年超の歴史を誇る、運用モデルに携わる専門集団として、安定的かつ持続的な超過収益の獲得をめざします。

充実した運用体制



ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントについて

- ゴールドマン・サックスは、1869年(明治2年)の創業以来、150年超の長い歴史を持つ世界有数の金融グループです。
- ゴールドマン・サックスの資産運用部門であるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、1988年の設立以来、世界有数の資産運用会社として、世界の機関投資家、政府系機関、個人投資家向けに約360兆円*の資産を受託しています。

2023年12月末現在

*1米ドル=140.980円にて円換算

飛躍的に拡大するビッグデータと、AIの活用

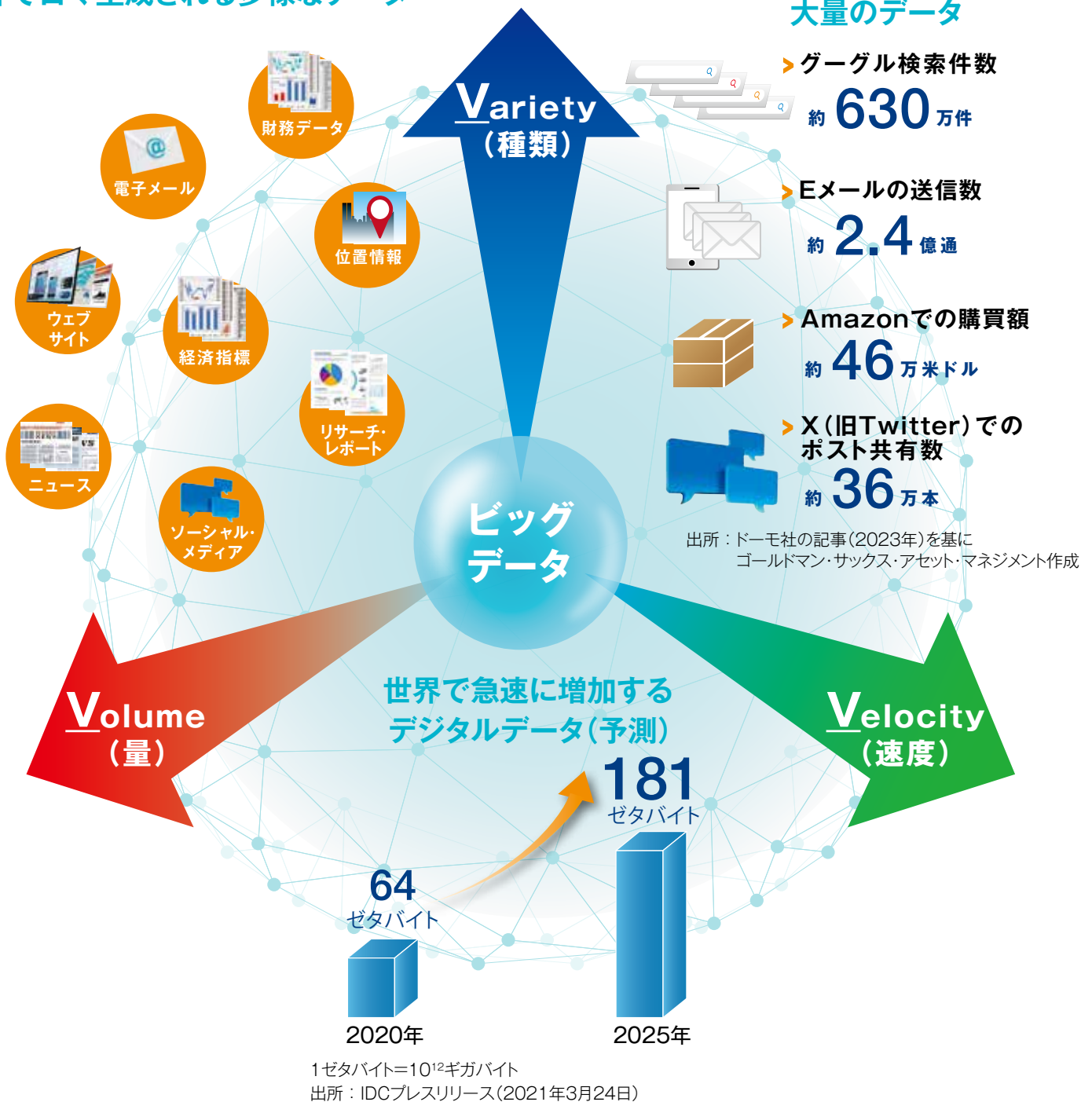
現在、生成されるビッグデータは、Volume(量)、Velocity(速度)、Variety(種類)の3次元的に拡張しています。

ビッグデータの飛躍的な拡大により、その解析技術としてAIの重要性も高まっています。AIの進化により、これまでのテクノロジーでは解析が難しかった多様なデータを、投資戦略に活用できる時代となりました。

ビッグデータは「3つのV」で3次元的に拡張

世界で日々生成される多様なデータ

世界で1分間に作り出される大量のデータ



上記はビッグデータやAIについて理解を深めるための一般的な情報提供を目的としており、本ファンドの運用を説明したものではありません。

個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。

上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。

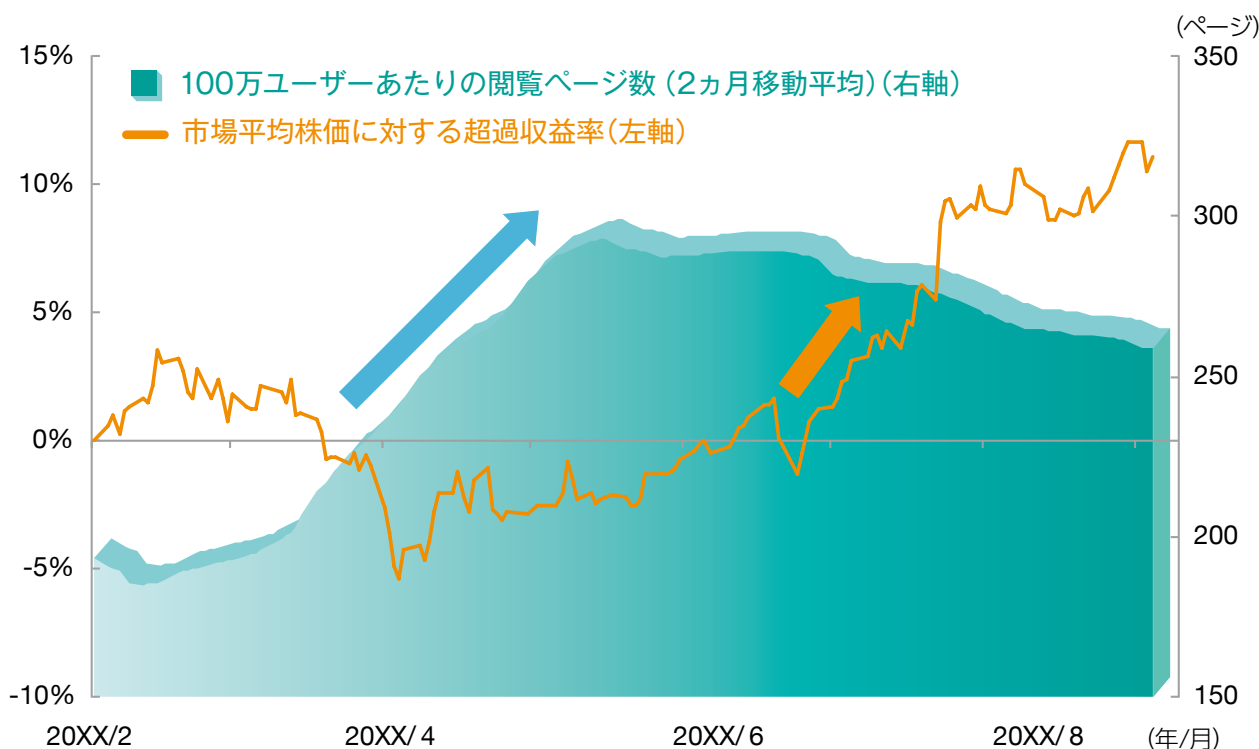
□ ウェブ・アクセス分析

ウェブへのアクセス動向で » 収益トレンドも予想!

一般消費者向けビジネスを営む企業のウェブサイトへのアクセス動向のトレンドを分析することにより、収益性の予測に活用します。

- 小売業などの一般消費者向けに事業を営む企業では、企業ウェブサイトへの閲覧ページ数が増加すると、販売増加に伴い収益性が向上する傾向があります。
- ウェブへのアクセス数の変化をいち早く捉えることで、その後の株価トレンドを捉えることをめざします。

小売業者 A



出所：アレクサ、ブルームバーグ、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたものです。上記の活用例は今後変更になる場合があります。



□ 脱炭素社会に着目した運用例

ポートフォリオの低炭素化

投資している企業全体の温室効果ガス排出量が市場平均*対比で25%以上下回ることを目標に投資比率を決定

- 脱炭素社会の到来を見据え、本ファンドの運用では二酸化炭素などの温室効果ガス排出量が多い企業への投資を削減する取り組みを導入しています。
- サプライチェーンを考慮した各企業の温室効果ガス排出量と、エネルギーや鉱山会社が保有する石油・ガス・石炭などの化石燃料の埋蔵量を独自に算出します。そして、排出量と埋蔵量が市場平均と比べ25%以上下回ることを目標に、組入銘柄とその投資比率を決めます。

1. 温室効果ガス排出量 (現時点で企業が排出する温室効果ガス)

2. 化石燃料埋蔵量 (将来、採掘・燃焼されると生じる温室効果ガス)



*参考指標であるMSCIエマージング・マーケット・インデックス

当該参考指標は投資対象ファンドの参考指標であり、本ファンドのベンチマークや参考指標ではありません。

上記は例示を目的とするものです。写真はイメージとして掲載するものです。上記は現行モデルに基づくものであり、運用モデルの改良・更新は継続的に行われております。したがって、投資プロセスは変更される場合があります。また、その目的を達成できる保証はありません。上記は本ファンドが主要投資対象とする外国投資証券について説明したものです。

※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

ファンドの特色

POINT 1

エマージング諸国の株式を主な投資対象とし、
信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

POINT 2

ビッグデータやAI(人工知能)を活用したゴールドマン・サックス・
アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価
基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

POINT 3

原則として為替ヘッジは行いません。

※本ファンドの主要投資対象はエマージング諸国の株式です。運用においてビッグデータやAIなどを利用しますが、ビッグデータやAIなどのテクノロジー関連企業に特化して投資するものではありませんのでご注意ください。

※本ファンドは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)を運用上の参考指標とします。
市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

AI(人工知能)とは

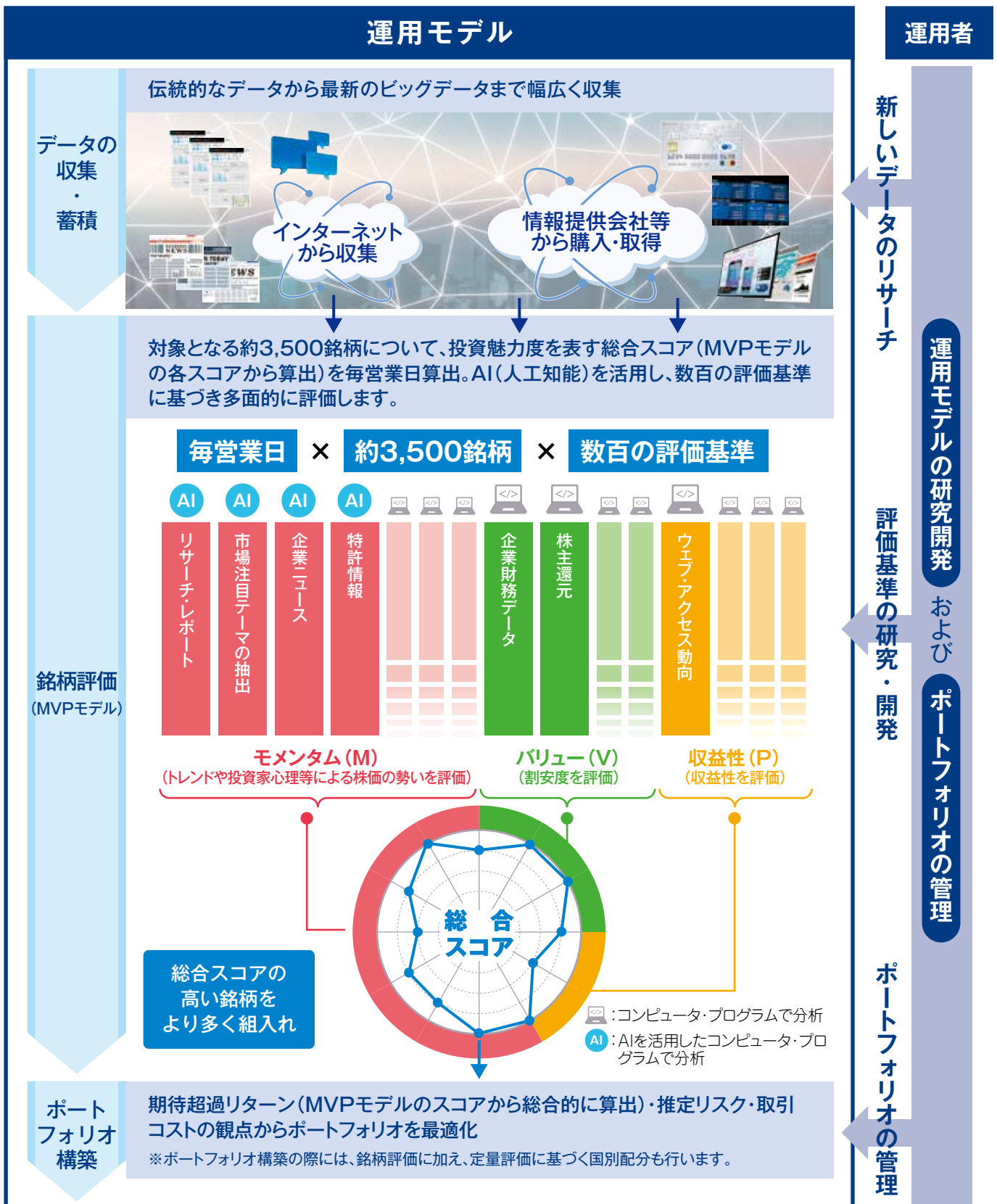
- 人工的に、コンピューター上などで人間と同様の知能を実現させようとする試みや、そのための一連の基礎的な技術のことを指します。
- 人工知能に関連する研究分野には、「機械学習」や「深層学習」といった基礎分野と、「画像認識」や「音声認識」、「自然言語処理」といった応用分野があります。

■計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデルでは、投資対象銘柄について、数多くの多面的な評価基準に基づいて評価し、組入銘柄を決定しています。これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブ・アクセス量などの非伝統的データも活用されます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントではこれらのデータ(ビッグデータを含みます。)の活用を競争力の源泉とみなしており、近年その利用割合を増やしているだけでなく、そのデータの種類や利用方法も進化しています。機械学習に代表されるAI技術は、一部の評価基準においてデータ分析プロセスで活用され、特にアナリスト・レポートやニュース記事等のテキストデータを読み込む評価基準において活用されます。最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。

投資プロセス

最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム(Momentum)・バリュー(Value)・収益性(Profitability)の投資テーマを通じた数百もの評価基準(MVPモデル)に基づき、投資対象候補銘柄すべての投資魅力度を総合的に評価した上で、ポートフォリオの最適化を図ります。



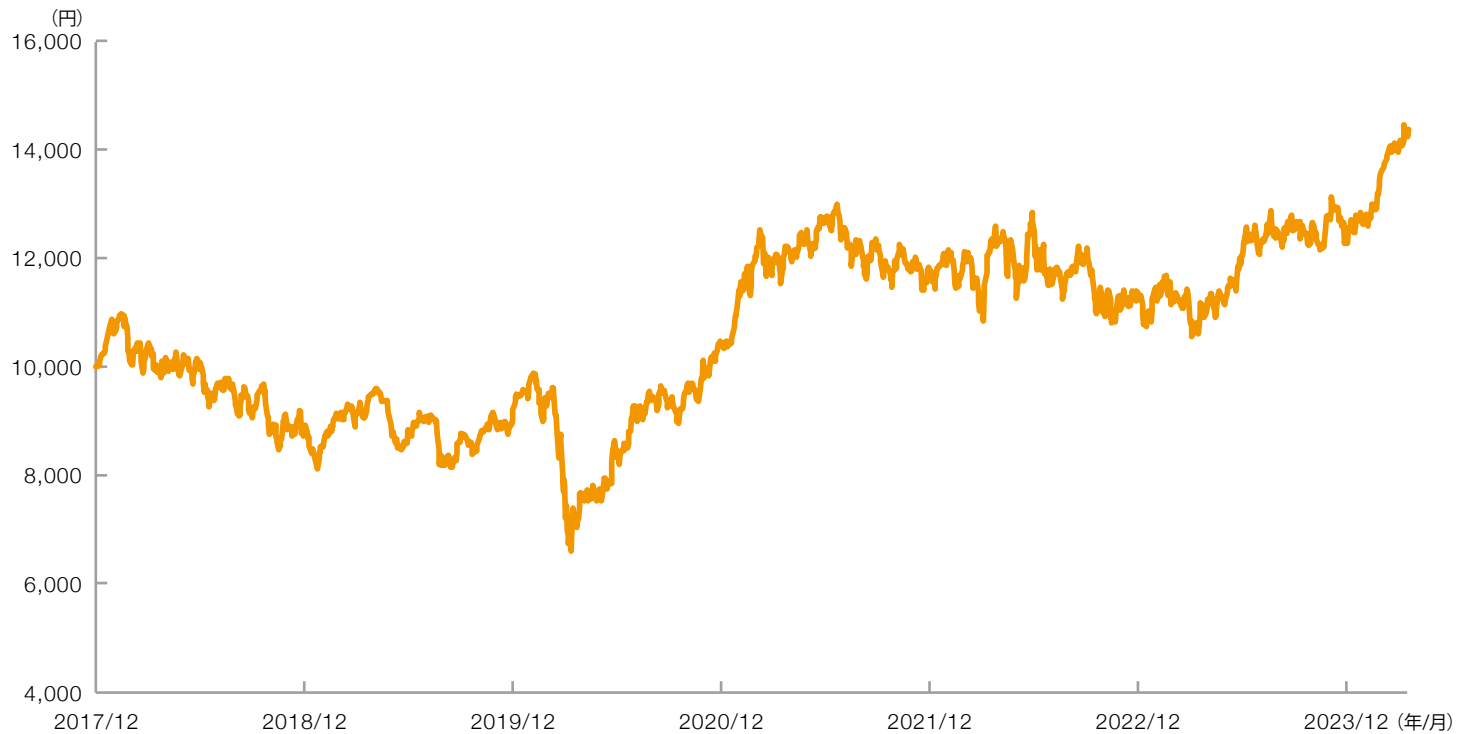
上記は現行モデルに基づくものであり、運用モデルの改良・更新は継続的に行われております。上記の投資プロセスは変更される場合があります。上記がその目的を達成できる保証はありません。上記は概念図であり、実際の評価の割合等とは異なることがあります。上記は本ファンドが主要投資対象とする外国投資証券について説明したものです。

※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

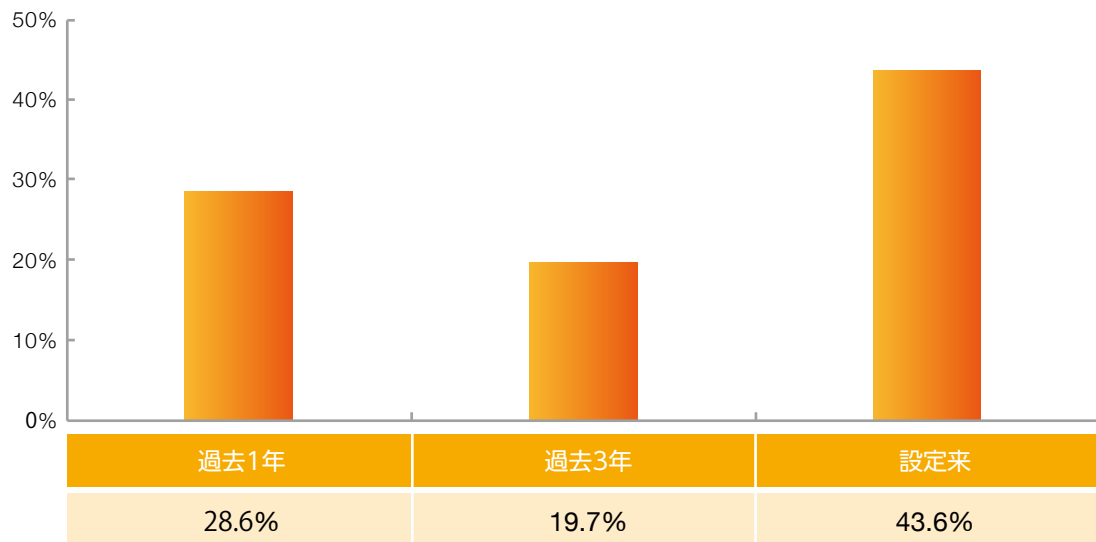
ファンドの運用実績

GSビッグデータ・ストラテジー(エマージング株)は、2017年12月12日に運用を開始しました。

《分配金再投資基準価額の推移》



《各期間の騰落率》

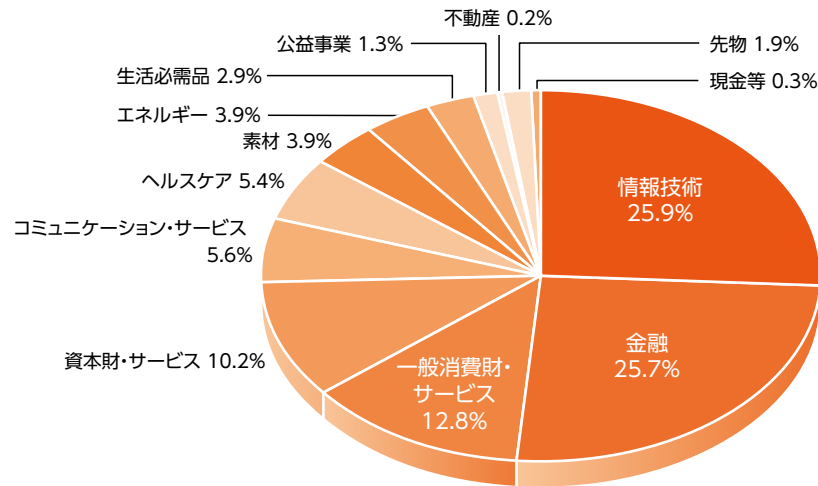


期間：(上グラフ) 2017年12月12日(設定日)～2024年3月末(下グラフ) 2024年3月末現在
出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

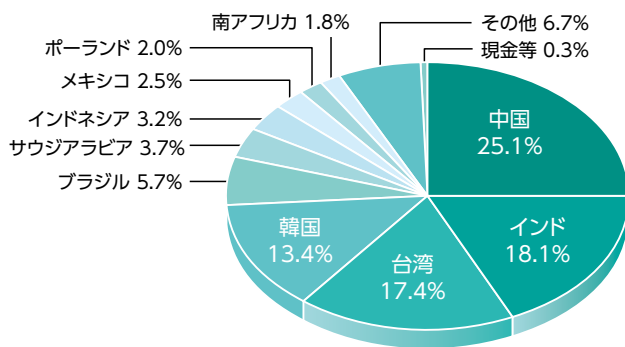
過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
上記の分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金再投資基準価額は、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額です。

投資対象ファンド^{※1}のポートフォリオ概要

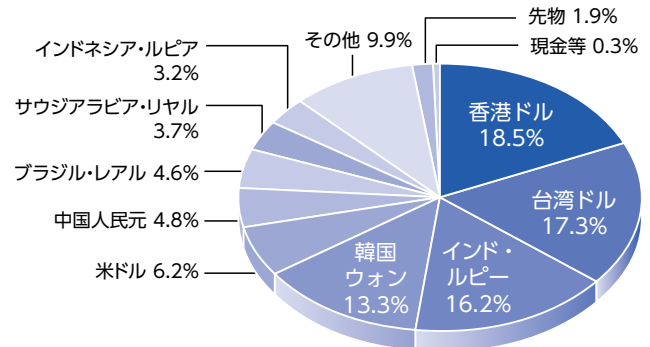
《セクター^{※3}別構成比率》



《国^{※2}別構成比率》



《通貨別構成比率》



投資対象ファンド^{※1}の組入上位10銘柄【合計369銘柄】

銘柄名	国 ^{※2}	セクター ^{※3}	構成比率
1 台湾積体回路製造(台湾セミコンダクター)	台湾	情報技術	7.2%
2 サムスン電子	韓国	情報技術	4.2%
3 騰訊控股(テンセント・ホールディングス)	中国	コミュニケーション・サービス	3.8%
4 イタウ・ユニバンコ・ホールディング	ブラジル	金融	2.0%
5 アリババ・グループ・ホールディング	中国	一般消費財・サービス	2.0%
6 インドステイト銀行	インド	金融	1.8%
7 聯発科技(メディアテック)	台湾	情報技術	1.8%
8 バーラト石油	インド	エネルギー	1.2%
9 起亜自動車(キア自動車)	韓国	一般消費財・サービス	1.2%
10 バンク・セントラル・アジア	インドネシア	金融	1.2%

2024年3月末現在 出所:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

※1 投資対象ファンドとは、本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V.-ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツCOREエクイティ・ポートフォリオ」を指します。

※2 上記の国には地域を含みます。原則、ブルームバーグの情報に基づいて分類していますが、その情報で香港となっている場合は中国として分類しています。

※3 Global Industry Classification Standard (GICS[®]) (世界産業分類基準)のセクター分類を使用しています。

上記は過去のデータであり、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。上記構成比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

上記はあくまでも過去の一時点における組入銘柄であり、将来にわたって引き続き当該銘柄を保有、または保有しないことを保証するものではありません。また、個別銘柄の売却、購入または継続保有等を推奨するものではありません。

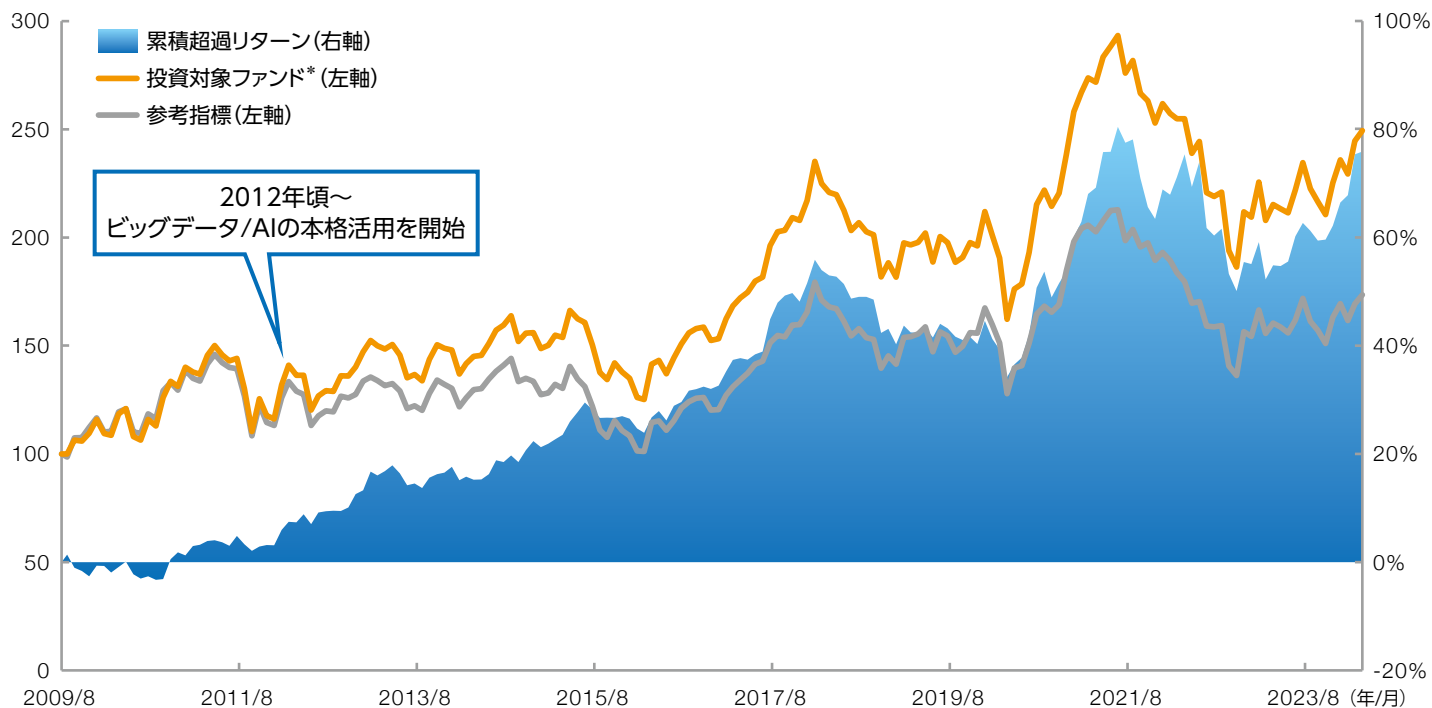
ご参考：投資対象ファンド*の運用実績

下記は、投資対象ファンド*の過去の運用実績(費用控除前)であり、本ファンドの運用実績ではなく、本ファンドの将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。下記データにおいては、本ファンドの信託報酬等の諸費用は考慮されておらず、また、米ドル・ベースのデータを用いて計算しているため、円ベースのデータとは動きが異なります。

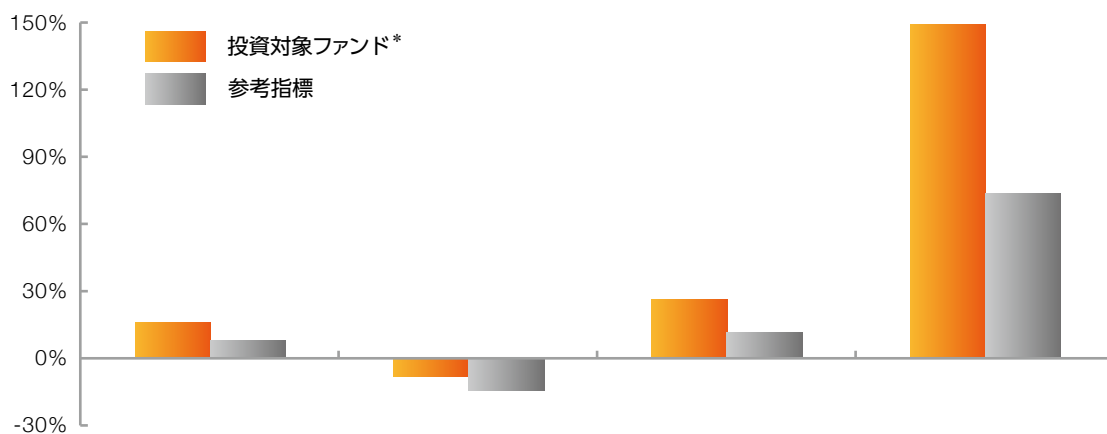
※9ページの「計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について」もあわせてご覧ください。

投資対象ファンド*は2009年8月に設定され、その後も日々、ビッグデータ/AIを活用した評価基準を研究・開発し、運用モデルを改良・更新しています。

《(ご参考) 投資対象ファンド*の運用実績(米ドル・ベース)》



《(ご参考) 各期間の騰落率(米ドル・ベース)》



	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
投資対象ファンド*	15.9%	-8.3%	26.1%	149.3%
参考指標	8.2%	-14.4%	11.6%	73.4%

期間：(上グラフ) 2009年8月10日(設定日)～2024年3月末、投資対象ファンドと参考指標は設定日前日を100として指数化。累積超過リターンは、その時系列の動きをよりわかりやすく見せるため、左軸とは異なるスケールを用いて表示しています。(下グラフ) 2024年3月末現在

出所：MSCIのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

参考指標：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み) 当該参考指標は投資対象ファンドの参考指標であり、本ファンドのベンチマークや参考指標ではありません。

*投資対象ファンドとは、本ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券(米ドル建て)「ゴールドマン・サックス・ファンズS.I.C.A.V.-ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケットCOREエクイティ・ポートフォリオ」を指します。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

エマージング株式市場への投資に伴うリスク

エマージング諸国への投資には、先進国の市場への投資と比較して、カントリー・リスクの中でも特に次のような留意点があります。すなわち、財産の収用・国有化等のリスクや社会・政治・経済の不安定要素がより大きいこと、市場規模が小さく取引高が少ないことから流動性が低く、流動性の高い場合に比べ、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があること、為替レートやその他現地通貨の交換に要するコストの変動が激しいこと、取引の決済制度上の問題、海外との資金決済上の問題等が挙げられます。その他にも、会計基準の違いから現地の企業に関する十分な情報が得られない、あるいは、一般に金融商品市場における規制がより緩やかである、といった問題もあります。エマージング諸国への投資にあたっては、長期での投資が可能な余裕資金の範囲で投資を行うことが肝要です。

株式投資リスク(価格変動リスク・信用リスク)

本ファンドは、外国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。

本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特にエマージング諸国の株式市場の下落局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。

一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

為替変動リスク

本ファンドの実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。したがって、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。為替レートは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他のさまざまな国際的要因により決定されます。また、為替レートは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

流動性リスク

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。このような場合、本ファンドの基準価額が大きく下落する可能性や換金に対応するための十分な資金を準備できないことにより換金のお申込みを制限することがあります。

留意点

計量運用に関する留意点

本ファンドでは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデル群を用いた複数の戦略が実行されます。ビッグデータやAIの利用を含む計量モデルに従う運用がその目的を達成できる保証はなく、ボトムアップ手法によるアクティブ運用やパッシブ運用など他の運用手法に対して優位性を保証するものでもありません。なお、計量モデルにはビッグデータやAI以外の定量要素も利用されます。計量モデルの改良・更新は継続的に行われており、ビッグデータやAIの利用方法については将来変更されることがあります。計量モデルは仮説に基づき構成されたものであり、モデルにより選択された銘柄や市場動向は必ずしもこの仮説が想定する動きを示さない場合があります。また、ある時点でモデルが有効であったとしても、市場環境の変化等により、その有効性が持続しない可能性もあります。このような場合には、本ファンドの基準価額に影響を及ぼし、本ファンドのパフォーマンスが参考指標を下回ったり、投資元金が割り込む可能性があります。

■ お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金 申込不可日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所、ルクセンブルク証券取引所もしくは上海証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨーク、ルクセンブルクもしくは上海の銀行の休業日および12月24日(以下「ファンド休業日」といいます。) ※主要投資対象とする投資信託証券の休業日に変更された場合には、本ファンドの休業日に変更になる可能性があります。
申込締切時間	「ファンド休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで ※2024年11月5日以降、原則として、購入・換金の申込みにかかる、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にご確認ください。
信託期間	原則として無期限(設定日:2017年12月12日)
繰上償還	純資産総額が50億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。 また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には、信託を終了します。
決算日	年2回(毎年3月15日と9月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	1兆円を上限とします。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 本ファンドは、少額投資非課税制度(NISA)の「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の適用対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)が課税の対象となります。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に、 3.3%(税抜3%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.5675%(税抜1.425%) ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の 諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随時	その他の費用・ 手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

- 委託会社: ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 (信託財産の運用の指図等を行います)
 - 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社 (信託財産の保管・管理等を行います)
 - 販売会社 (本ファンドの販売業務等を行います)
販売会社については下記照会先までお問い合わせください。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
電話番号: 03-4587-6000 (受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページ・アドレス: www.gsam.co.jp
- ※収益分配金に関わる留意点
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
また、投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。